

第3回会議 Aグループ論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	<p>市民意識調査の結果から、市民が医療・救急体制の充実を求めていることが分かったが、そういった市民ニーズが基本構想に書かれていない。</p> <p>また、全体的に平板に書かれているが、旭川の良いところがどこで、どこを伸ばしていくべきか、その辺のポイントがあまりこの基本構想(案)に反映されていないのではないか。</p> <p>市民検討会議の提言書の中で、「旭川市は医療機関数が人口10万対11.7と全道や全国より多く、」という記述があるが、これは病院の数であって、医療機関の数ではない。(医療機関というのは、病院と診療所の数である。)</p> <p>また、「就労している医療従事者数は全道、全国より多い状況にある。」という一文についても、医療機関の数について、旭川は全道とほぼ同じであり、全道より多いと言えるだろうか。</p>	
2	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	<p>ここに表記されている文言は、①問題の把握・課題の把握、②対応策、③実行、④評価の4つの段階のステップをしっかりと踏んでいるのか？</p>	<p>(事務局)</p> <p>第1回会議でも説明したが、平成25年度「市民意識調査」、平成26年度の第7次総合計画の点検報告、そして、市民検討会議、次世代ワーキンググループ、職員ワーキンググループによる提言、その他まちづくり対話集会や地域まちづくり推進協議会等様々な意見交換を行い、骨子をまとめた。</p>
3	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	<p>「4 まちづくりの基本的考え方」だけ読むと分かり難い。</p> <p>「5 目指す都市像」、「6 都市像の実現のために」及び「4 基本的な考え方」との関係が分かり難い。</p> <p>さらに、骨子の「3 まちづくりの展望」の「現状と課題」には、明るい話題も書いてあるが、基本構想にそれらが載せられないということであれば、工夫が必要だと思う。</p>	
4	P9	4 まちづくりの基本的考え方		8行目及び10行目	<p>8行目:「生き生きとした市民や地域の力を原動力として、より豊かで質の高い暮らしが実現することで、このまちに暮らすことの喜びが大きくなっていきます。」の「喜びが大きくなっていきます。」といった表現をもう少し意気込みが感じられる表現にしてはどうか。</p> <p>10行目:「地域資源が磨かれ」という表現より「地域資源が活用され」ではどうか。</p>	<p>意識的に旭川の良いものを見い出していくといった意味ではむしろ「活用」よりも「磨かれ」といった表現の方が良いのではないかと思う。</p>
5	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	<p>第7次総合計画における課題は何であったかを明確にして欲しい。そういった課題の中に、シャッター街の問題であるとか、ドーナツ化現象の問題は入っているのか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>第1回会議で配付した第7次総合計画点検報告書の中で、第7次総合計画における課題をまとめている。</p>
6	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	<p>全体の表現として、課題など本市が抱える問題点から出発しているので、明るい表現になっていない。</p> <p>マイナスの課題は書いてあるけれど、本市の良いところがあり打ち出されていないのではないか。</p>	

7	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	「第7次総合計画点検報告書(概要版)」の中で、町内会加入率の低下が課題として挙げられている。 日頃から、町内会への加入を勧めているが、若い人、特にアパートに入居している人たちには入ってもらえず、自分の町内会の加入率は50%を切っているように思う。 市で何か抜本的な対策を打つべきではないかと思う。	
8	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	委員各自が思っていることや考えていることが、基本構想のどこかに大まかに表現されていれば良いのではないか。 個別の施策や課題については、次の基本計画の中で明記すべきものであり、具体的な対策はそこで打ち出していくべきであると思う。 要は、言いたいことが基本構想の中で大まかに表現され、そこから各自の思いや考え方を読み取ることができれば良いのではないか。	
9	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	(1)これまでのまちづくりの歩みは不要なのではないのか。 今までのことを振り返るより、前を見て話をすると明るいものになるのではないのか。	
11	P9	4 まちづくりの基本的考え方		1行目～2行目	「急速に進む少子高齢・人口減少、地域経済の低迷、厳しい財政状況など、本市を取り巻く状況に対応していくために」とあるが、こういった課題は本市のみならず、他の都市も同様の課題を抱えており、こういった状況に対応というよりは改善していかないといけないのではないのかと思う。	
12	P10	5 目指す都市像		全体	「目指す都市像」は「目指すまち」の意味であるのなら、旭川が目指す都市像に違和感がある。世界にきらめかなくてもいい。「世界にきらめく」とは一体どこからきているのか。 基本的な考え方の内容と、都市像の内容がかけ離れている。4と5の順番が逆か、内容の問題なのか、順番の問題なのか、分からない。 4と5であるが、この都市像を実現するための考え方が先に示されるべきではないか。	
13	P11	6 都市像の実現のために	基本目標1	基本政策1	「子ども一人一人が家庭の中で愛情を受けながら」ということは基本であるが、家庭の中で愛情を受けられない子どももいることから、そういった場合には社会で支えていく必要がある。	
14	P12	6 都市像の実現のために	基本目標1	基本政策2	「質の高い医療や救急医療の確保に取り組みます。」ではなく、質が落ちないようにどうするか、維持できるかということが重要である。	
15	P11	6 都市像の実現のために	基本目標1	基本政策3	高齢者や障害者などへの福祉サービスの提供とあるが、これからの時代においては、高齢者や障害者はサービスを受けるだけということではなく、旭川のまちづくりをどうしていくかを一緒に考えていく必要がある。	

第3回会議 Bグループ論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	「まちづくりの基本的な考え方」は、基本条例の前文を踏まえた表現としてもよいのではない。 ここでは、現状と課題がイントロダクションとなっているが、それらを脱却するために必要な手段(これからどうすべきか)をポジティブに表現した方がよいのでは。 この文章は12年後も生きることになることを意識することも必要。	
2	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	この章は、「これからのまちづくりとはこういうもの」という定義、方向性を示したものであり、内容的には違和感を感じないが、タイトルが内容にマッチしていないのではないか。	
3	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	「3 まちづくりの基本的な考え方」から、各基本目標につながっていくことから、ポイントを絞り、分かりやすい表現としてはどうか。 「3 まちづくりの展望」→「4 まちづくりの基本的な考え方」→「5 目指す都市像」へと、スムーズにつながるよう、市民にとって分かりやすく、表現の重複を抑えた構成にするなどの工夫が必要ではないか。	
4	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	ここでは課題設定に対しての12年間の目標や手段などを掲げている部分であるが、「3 まちづくりの展望」をもっと踏まえた書きぶりにしても良いのではないか。	
5	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	もっと、簡潔で良いのでは。 全体のコンセプトとなるようなワードを用い、端的に表現してはどうか。 本市の魅力については、9ページの3,4行目「本市の地域資源である豊かな自然や都市機能が調和した旭川らしい暮らしの充実」という表現に集約されているのではないか。	
6	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	「3 まちづくりの展望」を踏まえた上での今後のまちづくりの考え方がこの部分の位置付けとなっており、原案とおりで問題ないのではないか。	
7	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	「3 まちづくりの展望」では、全国的に共通する課題、本市が抱える課題の両方が記載されており、「4 まちづくりの基本的な考え方」では、その両方に対しての本市の基本的な考え方が表現されていることは良いと思う。	
8	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	「4 まちづくりの基本的な考え方」は、「3 まちづくりの展望」(1)～(5)を受けた形で表現されていることから、このままで良いかと思う。	
9	P9	4 まちづくりの基本的考え方		全体	これらに表現されている内容は、もっともなことであり、否定するものではないが、読み手側からすると分かりにくさを感じる。 「4 まちづくりの基本的な考え方」の前段4行は、「3 まちづくりの展望」のそれぞれの課題認識や方向性をまとめたものであり、表現が重複しているような印象を受け、考えを強く押し出したい思いとは逆にぼやけてしまっている。 また、「3まちづくりの展望」(1)～(5)を踏まえた上、「4 まちづくりの基本的な考え方」の5行目以降の「考え方」につながっていく方が自然な流れであり、読む側からしても分かりやすいのではないか。	(各委員)意見に賛同

10	P10	5 目指す都市像		全体	「拠点」とあるが、中核ではないか。拠点では都市規模が小さいイメージがある。	
11	P10	5 目指す都市像		全体	「世界にきらめく」に違和感を感じる。 世界にきらめくためには、アジアだけでなく世界全体をターゲットにして、経済が成長し、観光など交流人口が増えることが必要。 この都市像を掲げるためには、今後審議を予定している基本計画などにおいて、対応する施策が盛り込まれていることが必要。	
12	P10	5 目指す都市像		全体	基本的には、そのまちに「住みたい」、「行ってみたい」と思わせるようなまちであるべきだと考えるが、そういった部分がこの都市像から感じ取れるか。	
13	P10	5 目指す都市像		全体	例えば、旭川の大きな資源である旭山動物園は、既に「世界にきらめく」状態となっていると思う。その他にも様々な地域資源があり、それらを磨き上げることに より、12年後、「世界にきらめく」状態となっていることを目標とし、都市像にすることは良いと思う。 ただし、そこに向かうために必要な施策が伴うことが条件である。	(各委員)意見に賛同
14	P11 P12	6 都市像の実現のために		全体	「3 まちづくりの展望」(2)でふれている「地域コミュニティ」は、子育て、福祉など様々なまちづくりに係る取組において、今後、ますます重要な要素となることから、基本目標として表現しないのか。 ただ、地域コミュニティは、全ての基本目標の下支え、ベースとなるものであることから、全体の共通要素となっているという考えもあると思う。	
15	P11 P13	6 都市像の実現のために	全体	全体	「3 まちづくりの展望」(1)～(5)に掲げられている表現が基本目標につながっていくような構成となっているか再度、確認が必要ではないか。	
16	P11 P13	6 都市像の実現のために	全体	全体	基本目標1、2においては、子育てや福祉・医療などについて述べていることを端的に分かりやすく表現することが望ましく、修飾するような表現はなるべく削ぎ落とした方が良いのではないか。	
17	P12 P13	6 都市像の実現のために	基本目標2	基本政策5	基本目標2及び基本政策5に生涯学習の視点をもっと強く入れる必要はないか。 基本政策5のタイトル「スポーツや文化に親しみ、学びを深める環境づくり」の後段の「学びを深める」が生涯学習の意味を持ち、主となる部分であれば、本文の構成等と整合していないのではないか。	
18	P12 P13	6 都市像の実現のために	基本目標2	基本政策4、5	基本目標2及び基本政策4,5では、知育、体育の部分が中心として表現されているが、食育や情報リテラシーなどの部分も重要であると考え。 また、子供から高齢者まで各世代をサポートし続ける教育を目指すような表現となっているかが読み取りにくい。	
19	P12 P13	6 都市像の実現のために	基本目標2	基本政策5	世代間交流など、生涯学習が未来の担い手である子どもの教育にもつなげていく視点が若干足りないのでは。	
20	P11 P13	6 都市像の実現のために	全体	全体	基本政策1は子育て、基本政策2は保健・医療、基本政策3は福祉、基本政策4は学校教育、基本政策5は生涯教育についての項目となっているが、各基本政策や基本目標もその中に書かれている内容が端的に分かるようなタイトルとしてはどうか。	